

様式 2 京都府 台湾等向け京都産農林水産物輸出事業産地計画 (京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会京野菜流通部会)

京たngo梨：京丹後市 えびいも：京田辺市、木津川市、精華町、八幡市
京みず菜：京都市、亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市 万願寺甘とう：福知山市、舞鶴市、綾部市、
九条ねぎ：宇治田原町、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、南丹市、福知山市、京丹後市、伊根町、与謝野町、宮津市

1. 取組の背景

京野菜流通部会では、平成29年度から輸出障壁の低い香港やシンガポールへ、京都府産青果の輸出の取組を開始。輸出の量的拡大のため、第三の輸出先国として台湾を選定するとともに、その先の輸出先国を模索中。



しかし、輸出先国を拡大するには大きな課題がある

- ① 梨は輸出実績はあるが、春節や中秋節といった需要の多い時期に、大玉で、品質の良いものを、安定的に輸出できてない。また、野菜は台湾の厳しい残留農薬基準がクリアできていない品目・作型もあり、輸出実績がなく、安定的な商流がない。
- ② 競合の多い中で他産地と差別化を図ることが必要。
- ③ 輸出拡大に向けた産地での意識醸成、情報共有が必要。

2. 取組の内容

生産・加工等の体制構築支援

- 栽培試験
京たngo梨のジベレリンの塗布による大玉果の早期収穫試験及びスマートフレッシュの燻蒸による長期保管試験の実施
- 残留農薬分析
- 栽培防除暦の作成
京みず菜、九条ねぎや万願寺甘とうの台湾残留農薬基準に対応した栽培防除暦の作成
- GAPの検討
- 生産者の意識醸成 他

事業効果の検証・改善

- 販売拡大の取組
台湾への試験輸出や現地の飲食店、小売店のバイヤーとの商談を実施
- 新たな輸出先国の検討
京たngo梨をベトナムへ試験輸出
- 動画の作成等
「京都」と「食」を結びつけるような産地動画や、現地の食習慣を考慮したレシピ、ひと目で京都と分かるパッケージの作成など 他



3. 取組のアウトプット

- 京たngo梨の輸出拡大、京野菜の輸出実現と生産者の所得向上



- 他のアジア諸国への輸出拡大
- 野菜輸出の成功事例を作ること、他の品目や他産地でも輸出の取組へつなげる